

第4回委員会会議結果概要(案)

開催概要	
日時	平成24年7月19日(木) 17時00分～19時00分
場所	千葉県国際総合水泳場 会議室
参加者数	35名
出席委員	6名(◎遠藤茂勝、工藤盛徳、及川七之助、松本好司、歌代素克、佐々木洋晃) ◎:委員長
結果要旨	
◇報告事項	
○1) 第3回護岸整備委員会の開催結果概要	
事務局から資料1により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・特になし	
○2) 2丁目護岸(春季)モニタリング調査の結果概要	
事務局から資料2により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・定着性と移動性の生物(動物)が混在して表記されている。移動性の生物(アラレタマキビ)については、潮位と連動して移動するため、データ整理時には調査時間帯と潮位の関係がわかるよう整理した方がよい。	
⇒ご意見のとおり整理したい。(事務局)	
・地形変化について、この数値で落ち着いたのか。落ち着いたのであればもう観測をする必要はないのではないか。	
⇒概ね落ち着いたかと思うが、引き続きモニタリングしていきたい。(事務局)	
○3) 1丁目護岸(春季)モニタリング調査の結果概要	
事務局から資料3により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・移動性の生物については、潮位と連動して移動するため、データ整理時には調査時間帯と潮位の関係がわかるよう整理した方がよい。	
・現地では、護岸が海側に動いているように見えるが、地震によって水平方向にどの程度変化したか把握しているのか。被災の結果はどのように整理しているのか。	
⇒手元に資料がないため、後日報告する。(事務局)	
・1丁目と2丁目を比べて、生物の増減に同じような変動が見られているのか。	
⇒1丁目のモニタリングは始めたばかりなので一概に傾向は言えない(事務局)	
・工事期間とモニタリング日時が重なった場合の結果については、そういう条件のもとで行ったことを示す必要がある。	
裏面に続く	

◇議題

○2丁目護岸のバリエーション構造

事務局から資料4により説明後、質疑応答。

[主な意見及び対応]

- ・特に意見なし
(平成25年春の工事着工予定)

○1丁目護岸のバリエーション構造

事務局から資料5により説明後、質疑応答。

[主な意見及び対応]

- ・テラスの壁について、子供の視線を確保し、かつ転落防止を図るようなもの、例えばスリット状の窓を配置してはどうか。
- ・基本的な考えは良い。イメージができるようなイメージ図が2, 3点あると良い。
- ・東側のテラスは、もっと漁協に近づけられないのか。
⇒東側に近づける事も可能だが、後背地の展望を確保できる場所はここだけである。
- ・手すりの素材、波浪の打ち上げ、排水処理、子供の利用、スロープ・階段等の諸元等、は検討すべき事項である。
- ・風が強くなれば波しぶきが上がるので、その辺も考える必要がある。

【総括】

- ・今回の意見を踏まえ、次回は更なる具体的なイメージ図を提示し再度意見を伺う。

◇その他

- ・2丁目と3丁目の間の自然再生の場が予定されている区間はどのようにするのか。
⇒地主である市川市と協議し、検討をしていきたい。

以 上